



脳疾患に備えるために 脳ドック



大野記念病院の脳ドックでは、MRIなどの検査機器を駆使して、様々な角度から脳や脳血管の状態をチェックします。もし異常や病変が発見された場合にも、速やかな連携で適切な医療を行います。

3テスラのMRIで



高い再現性と生産性を追求した
ドイツ・シーメンス社製新型MRI
MAGNETOM Lumina

より
スピーディ!

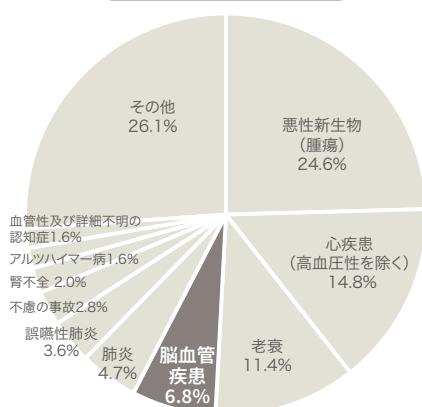
より
快適に!

より
正確に!

気づいてからでは遅い脳疾患

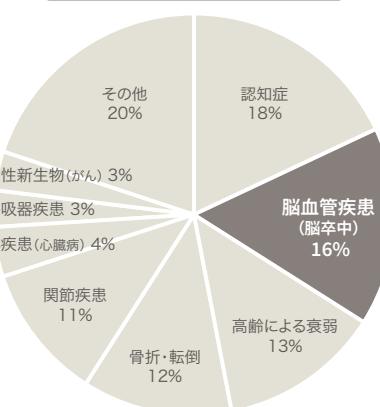
“がん”“心臓病”そして“脳卒中(脳血管障害)”は、常に日本人の死因の上位を占めています。中でも脳卒中は、はっきりとした自覚症状がなく、何の前触れもなしに突然発症する病気です。時には、生命予後に影響することもあり、手足の麻痺や寝たきり・失語症・認知症などの後遺症で家族の介護や治療費と多大な負担がかかる事も事実です。その原因には生活習慣病が大きく関係し、特に中高年の方は、発症の確立が高いと言えます。

日本人の死亡原因



2022年 人口動態統計月報年計(概数)の概況
主な死因の構成割合／厚生労働省より

要介護になった主な原因



2019年 国民生活基礎調査の概況／厚生労働省より

脳ドックの
受診が
推奨される方の
プロフィール

40歳以上で
まだ一度も脳ドックを受診したことがない。

高血圧、脂質異常(高脂血症)、
動脈硬化などの診断を受けている。

家族や血縁者に脳卒中になった人がいる。
もしくは、糖尿病・高血圧の傾向がある。

頭痛などの自覚症状がある

飲酒、喫煙の習慣がある

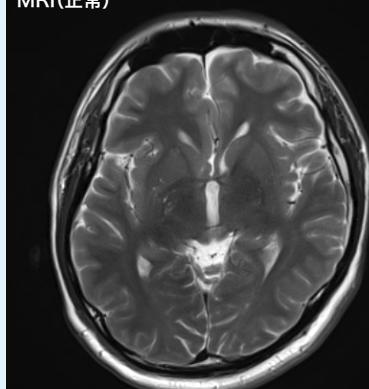
物忘れが最近激しいと感じる方

2~3年に1回は脳ドックを受けて健康管理を

脳ドックはその名の通り、脳や頭部の血管などに特化した検査のことであり、人間ドックよりも脳梗塞や認知症の早期発見に役立ちます。人間は40歳を過ぎると生活習慣病の影響がとても出やすくなります。また、健康な生活をしていた人でも、病気にかかるリスクが高くなります。さらに、ストレスが溜まっているればその影響もまた大きく現れてきます。普段から健康に気を付けている人でも、脳ドックは必要性があります。特に脳梗塞は知らぬ間に悪化して一気に容体が急変し、最悪の場合命に関わることもあります。

必ず2~3年に1回は脳ドックを受けて、健康をしっかり管理することが大切です。

MRI(正常)



MRA血管画像(正常)



大野記念病院
年間脳ドック受診者数

2021年度
1432件

2022年度
1342件

2023年度
1266件

- 検査種類の違いで大きく2種に分かれます。

A·B

- 頭部MRI ■頭部MRA ■頸部超音波 ■認知機能検査
 - 問診 ■血圧測定 ■身体計測 ■医師による結果説明
 - ABI(血圧脈波)
 - 心電図検査(安静時)
 - 胸部X線検査
 - 尿検査 ■血液検査
 - 頭部MRI ■頭部MRA ■頸部超音波 ■認知機能検査
 - 問診 ■血圧測定 ■医師による結果説明

脳ドック費用 A・Bコース 66,000円(税込) C・Dコース 44,000円(税込)

物忘れスクリーニング検査 のご案内 脳ドック受診時のオプション

物忘れスクリーニング検査費用 8,800円(税込)

●55歳～86歳が対象となります。

アルツハイマー型認知症では、脳の萎縮が早い時期に起こることが知られています。しかし一般的のMRI検査だけで、脳の萎縮を確認することは大変難しいとされています。MRIを用いた**VSRAD**(ブイエスラド)という検査では、記憶をつかさどる部位がどの程度萎縮しているかを色と数値で確認することができます。また、**アルツハイマー型認知症**(AD)に加えて**レビー小体型認知症**(DLB)の鑑別診断を支援する参考指標にも対応しています。当院の脳ドックオプションで、この**VSRAD**の検査ができます。

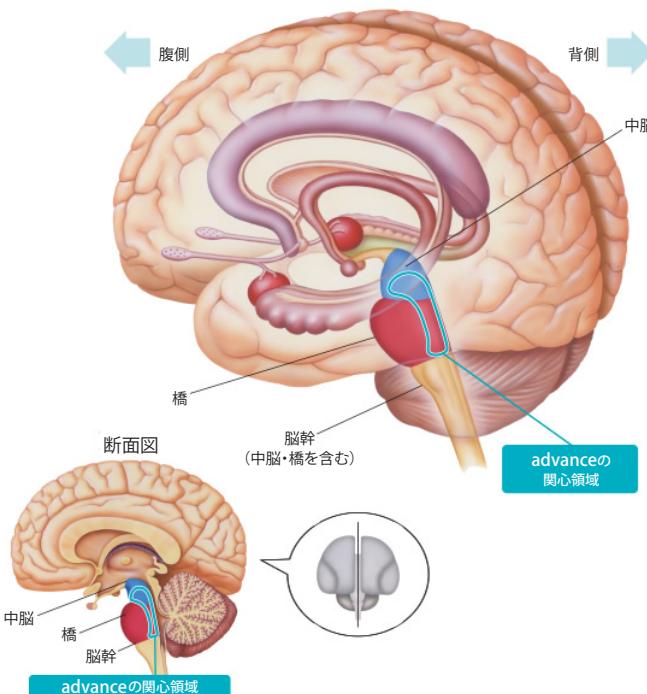
このような方は 要注意

同じことを言ったり聞いたりする

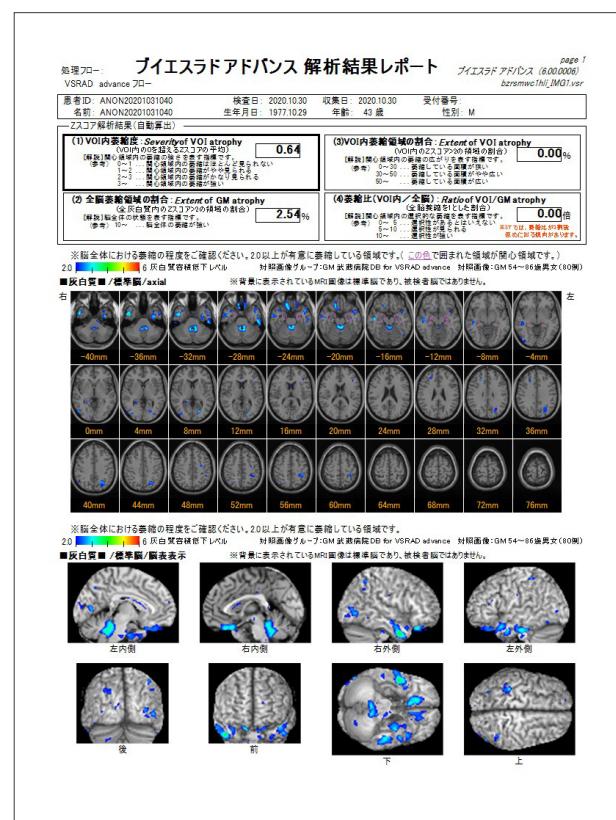
物の名前が出てこなくなった

置き忘れやしまい忘れが増えた

以前はあった関心や興味が失われた



認知症の診断は臨床症状・認知機能検査(MMSE)・画像診断を総合して行います。VSRADで高い数値が出たとしてもすぐに“認知症”と診断されるものではありません。詳細は担当医師にご確認ください。



お申し込み・お問い合わせ

患者総合支援センター

TEL.06-6531-0819
<https://www.cbpc.or.jp/>

社会医療法人 善樂会

大野記念病院